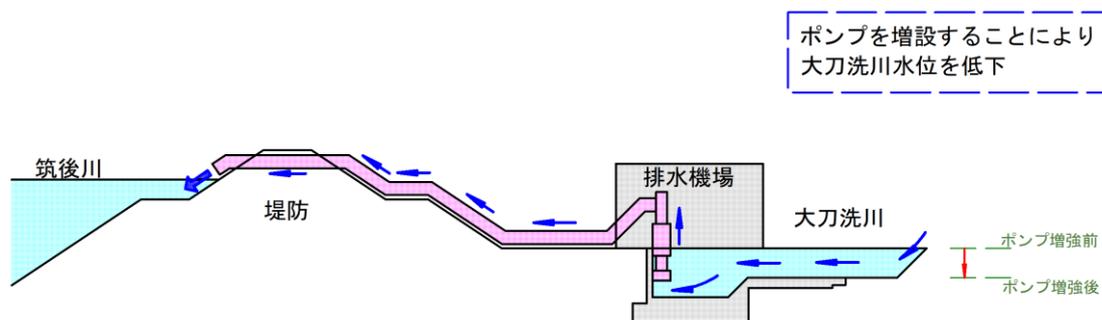


4-2. ハード対策

(1) 排水ポンプの増設【県】

筑後川との合流部（大刀洗川下流端）に排水ポンプの増設をすることにより、大刀洗川から筑後川本川への排水能力を高め、浸水被害の軽減を図る。



※大刀洗川の水位よりも筑後川本川水位が高い場合、大刀洗川からの自然排水ができなくなるため、排水機場で強制的に排水

図 4-1 大刀洗排水機場イメージ

(2) 排水ポンプの増設【県】

農作物の湛水被害の軽減を図るため、新川と筑後川の合流部に排水施設を整備し、新川から筑後川本川への排水能力向上を検討する。

(3) 大刀洗川の河川改修及び調節池整備【県】

大刀洗川については、西の宮橋から指定区間上流端までの延長L=10.7km 区間で、堤防の嵩上げ・拡幅、河道の拡幅、河床の掘削を行い、必要に応じて護岸整備、橋梁や堰などの構造物の改築や調節池の整備を行う。

ただし、改修工事の実施にあたっては、上下流の流下能力のバランスを考慮した段階的
施工を実施する。

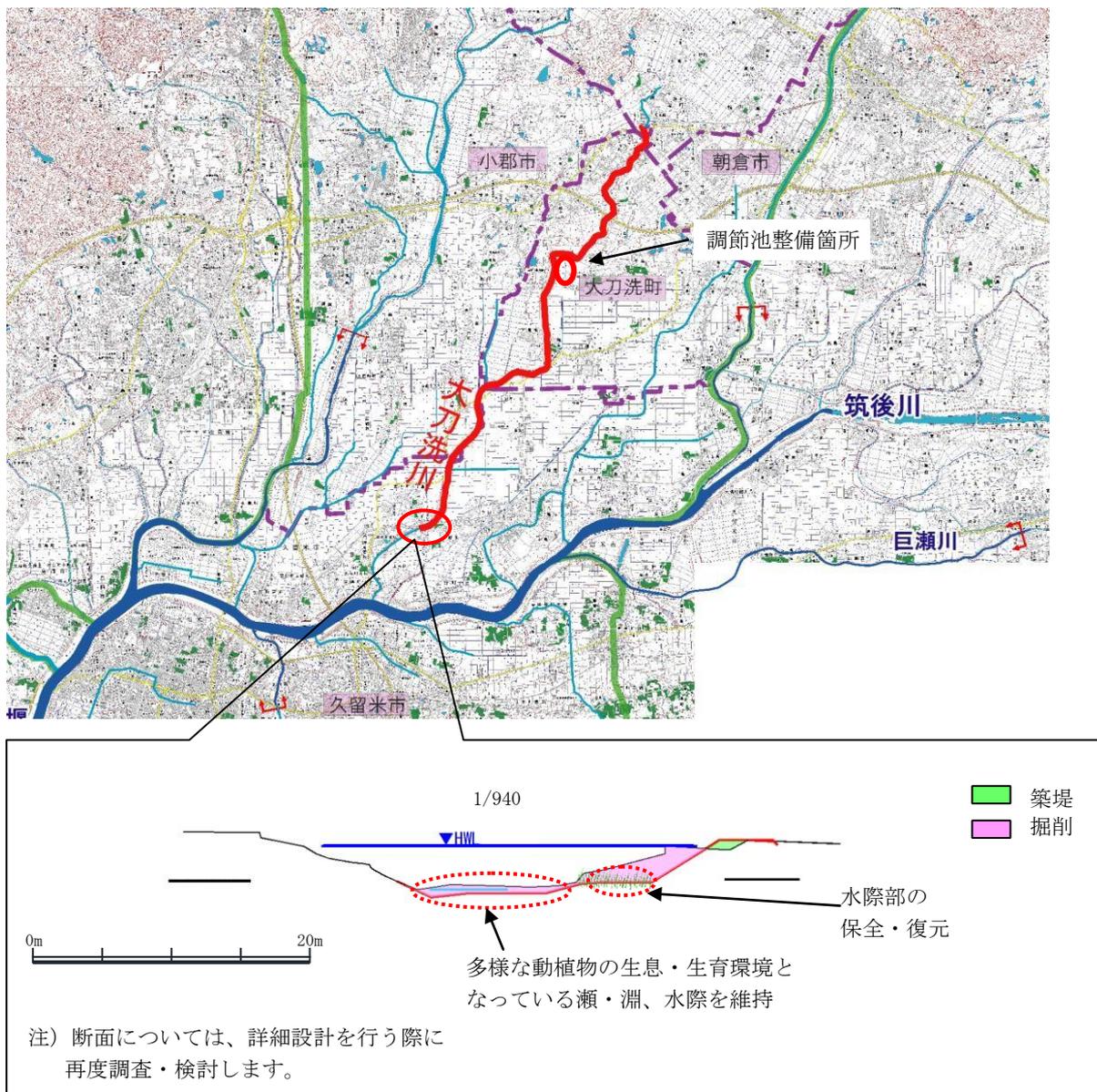


図 4-2 整備区間平面図・代表横断図

(4) 石原川の河川改修【小郡市】

石原川（小郡市管理）について、河川改修を行い、浸水被害の軽減を図る。

(5) 新川上流の水門整備【久留米市】

大刀洗川の左支川である新川（久留米市管理）の最上流部に水門を整備し、大刀洗川からの洪水流の流入を防止する。

(6) 逆流防止ゲート（フラップゲート）の設置【久留米市】

大刀洗川及び新川に接続する水路にフラップゲートを設置することにより、河川からの逆流を防ぎ、浸水被害の軽減を図る。



写真 4-1 フラップゲートの整備イメージ

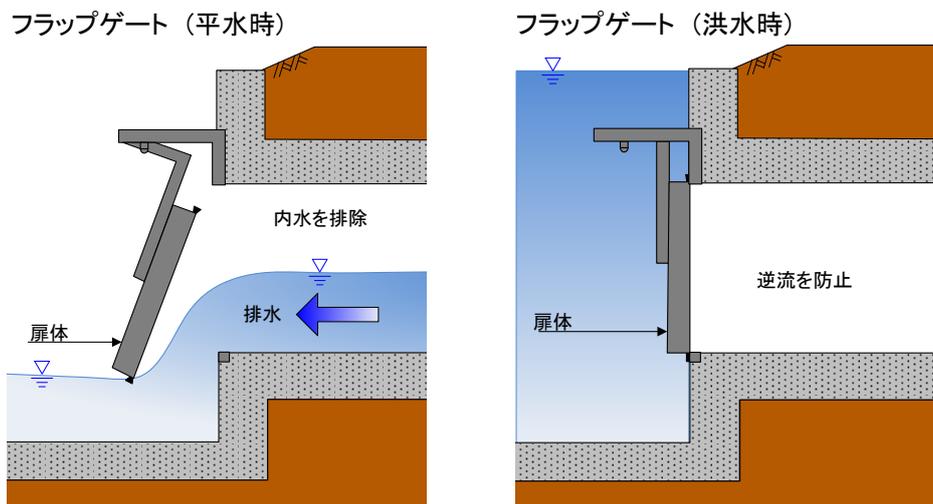


図 4-3 フラップゲート設置による逆流防止対策のイメージ

(7) 筑後川、大刀洗川、下水路等の堆積土砂等撤去

【国・県・久留米市・小郡市・大刀洗町】

河川巡視・点検などにより河道や堤防・護岸などの河川管理施設、下水道施設の状況を把握し、洪水時に安全性が確保できるように努める。

なお、河道や下水路等の流下断面を阻害する土砂や樹木については、土砂掘削・樹木伐採を実施することにより、河川水位を低減し、治水安全度の向上を図る。

これらの対策は、近年の出水後においても速やかに実施しており、今後も適切な維持管理を図っていく。



写真 4-2 大刀洗川の堆積土砂撤去実施例

(8)水田の貯留機能向上【久留米市・小郡市・大刀洗町】

大刀洗川流域における田んぼダムの取組によって、下流域の湛水被害リスクを低減させる。

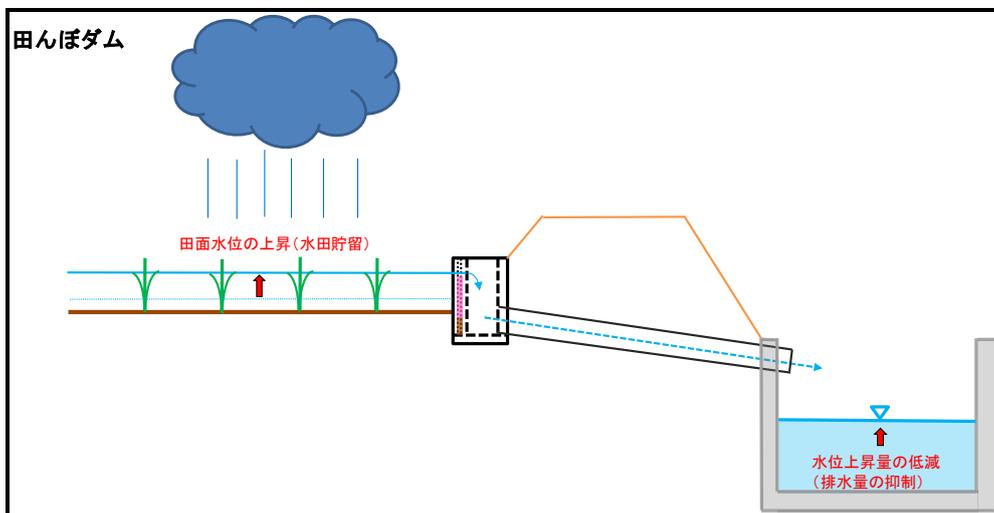


図 4-4 田んぼダムのイメージ



写真 4-3 田んぼダムの実施例

(9)ため池の堆積土砂等撤去【大刀洗町】

ため池の堆積土砂等を適切に撤去することにより、貯留機能の維持に努める。



写真 4-4 ため池の堆積土砂撤去実施例